【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和2年10月1日(2020.10.1)

【公表番号】特表2019-532559(P2019-532559A)
【公表日】令和1年11月7日(2019.11.7)
【年通号数】公開・登録公報2019-045
【出願番号】特願2019-511471(P2019-511471)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｌ　9/10　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　21/71　(2013.01)
Ｈ０４Ｌ　9/14　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｌ　9/00　６２１Ａ
Ｇ０６Ｆ　21/71
Ｈ０４Ｌ　9/00　６４１

【手続補正書】
【提出日】令和2年8月23日(2020.8.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
処理装置であって、
中央処理ユニットと、
前記中央処理ユニットに結合される第１のバスと、
前記中央処理ユニットに結合されるサイドバンド通信経路であって、前記第１のバスと分離されている、前記サイドバンド通信経路と、
複数のキーエントリを格納するためのメモリであって、各キーエントリが、それぞれのキー識別子と、それぞれのスレッド所有者と、それぞれの暗号キーとに関連付けられる、前記メモリと、
前記メモリに結合され、前記第１のバスと前記サイドバンド通信経路とを介して前記中央処理ユニットに結合されるプロセッサであって、複数の動作を実行するように適合されるロジック回路要素を含む、前記プロセッサと、
を含み、
前記複数の動作が、
キー識別子値を前記中央処理ユニットから前記第１のバスを介して受信することと、
スレッド識別子値を前記中央処理ユニットから前記サイドバンド通信経路を介して受信することと、
前記受信したキー識別子値に対応する前記メモリにおけるキーエントリを検索することと、
前記検索されたキーエントリに関連付けられる前記スレッド所有者に対応する前記スレッド識別子値に応答して、前記検索されたキーエントリに関連付けられる前記暗号キーを用いて暗号動作を実行することと、
を含む、処理装置。
【請求項２】
請求項１に記載の処理装置であって、

前記中央処理ユニットが、
プログラマブルロジックと、
前記プログラマブルロジックによって実行されている現在のスレッドを示す前記スレッド識別子値をストアするためのスレッドＩＤレジスタと、
を含む、処理装置。
【請求項３】
請求項１に記載の処理装置であって、
前記プロセッサが、前記中央処理ユニットによって実行されている現在のスレッドを示す前記スレッド識別子値を格納するためのスレッドＩＤレジスタを更に含み、
前記中央処理ユニットが、前記スレッド識別子値を第１のバスを介して前記プロセッサに通信する、処理装置。
【請求項４】
請求項１に記載の処理装置であって、
前記メモリが、前記第１のバスを介して前記プロセッサに結合され、
前記処理装置が、前記プロセッサを前記メモリに結合するチャネル上での前記メモリへのアクセスを制限するファイアウォール機能を更に含む、処理装置。
【請求項５】
請求項１に記載の処理装置であって、
前記プロセッサを前記メモリに結合する第２のバスを更に含む、処理装置。
【請求項６】
請求項１に記載の処理装置であって、
前記中央処理ユニットと前記メモリと前記プロセッサとが単一の集積回路にある、処理装置。
【請求項７】
請求項１に記載の処理装置であって、
前記中央処理ユニットが複数のプロセッサコアを含み、
前記スレッド識別子値が、現在のスレッドを実行する前記複数のプロセッサコアのうちの１つのプロセッサコアに対応する、処理装置。
【請求項８】
方法であって、
複数のキーエントリをメモリに格納することであって、各キーエントリが、それぞれのキー識別子とそれぞれのスレッド所有者とそれぞれの暗号キーとに関連付けられる、前記格納することと、
プロセッサによって、前記中央処理ユニットから第１のバスを介してキー識別子値を受信することと、
前記プロセッサによって、前記中央処理ユニットから前記第１のバスから分離されているサイドバンド通信経路を介してスレッド識別子値を受信することと、
前記受信されたキー識別子値に対応するキーエントリを前記メモリから検索することと、
前記検索されたキーエントリに関連付けられる前記スレッド所有者に対応する前記受信されたスレッド識別子値に応答して、前記検索されたキーエントリに関連付けられる前記暗号キーを用いて暗号動作を実行することと、
を含む、方法。
【請求項９】
請求項８に記載の方法であって、
前記スレッド識別子値が、前記中央処理ユニットにおけるオペレーティングシステム下の複数の実行スレッドの１つに対応する、方法。
【請求項１０】
請求項８に記載の方法であって、
前記スレッド識別子を前記プロセッサにおけるレジスタに格納することを更に含む、方

法。
【請求項１１】
請求項８に記載の方法であって、
前記キー識別子値に対応するキーエントリを検索することが、前記プロセッサを前記メモリに結合する第２のバスを介して実施される、方法。
【請求項１２】
請求項１１に記載の方法であって、
前記検索されたキーエントリに関連付けられる前記スレッド所有者が前記受信したスレッド識別子値に対応しないことに応答して、エラーメッセージを前記プロセッサから前記中央処理ユニットに発行することを更に含む、方法。
【請求項１３】
請求項８に記載の方法であって、
前記中央処理ユニットが複数のプロセッサコアを含み、
前記スレッド識別子が、現在のスレッドを実行する前記複数のプロセッサコアの１つに対応する、方法。